

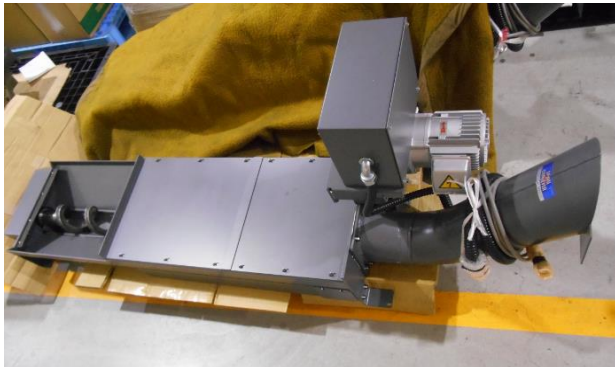
# GSL-10(H) スパイラルコンペアー装置 取付手順書



- ・ 作業するときは、必ず主電源スイッチを切ること。
- ・ チップコンペアー本体は重量物のため、運搬、機械取付時は取扱いに注意願います。
- ・ 作業前にこの手順書を**必ず一読してから**作業に取り掛かってください。

## 【同送されている部品】

① スパイラルコンペアー 本体 1台



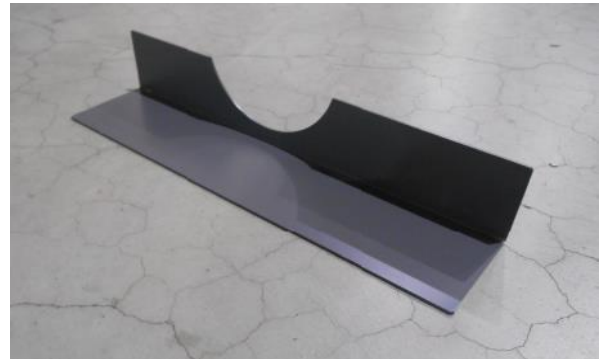
② タンクオイルパン 1個



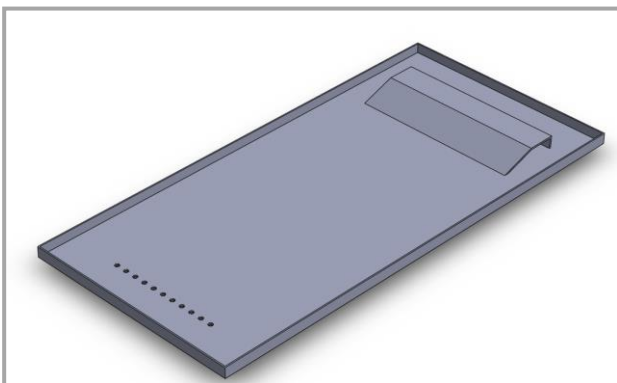
③ チップバケツ 1個



④ 切削油ヨケプレート 1個



⑤ ベットタンクフタ 1個



⑥ ボルト類

|           |       |    |
|-----------|-------|----|
| ボタンボルト    | M6×15 | 4本 |
| ワッシャー     | M6用   | 4個 |
| (呼びの2本含む) |       |    |

⑦ GSL-10 スパイラルコンペアー装置 手順書  
取付手順書 1部  
キーリレー設定手順書 1部

## 【必要工具】 お客様準備工具

六角レンチ  
ドライバー (+)

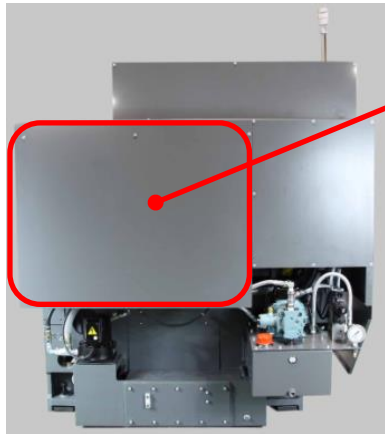
## 取り付け作業



**危険**

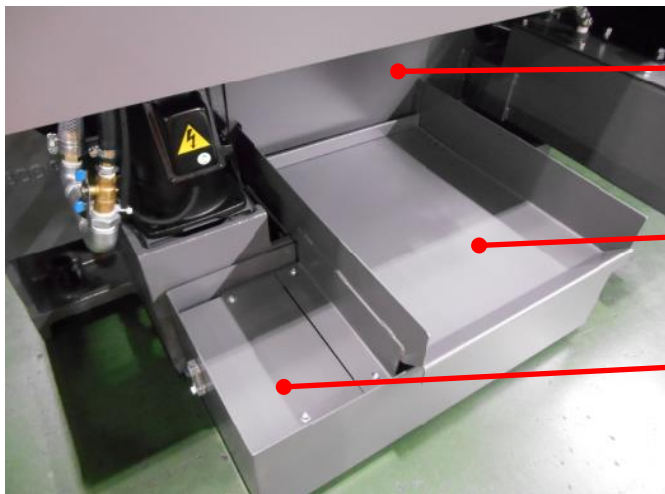
・作業するときは、必ず主電源スイッチを切ること。

- 1, 機械後方の“リヤカバー”を外す。



この部分のカバーを外す。

- 2, 機械についている“オイルパンフタ”と“タンクオイルパン”と“タンクフタ”を外す。



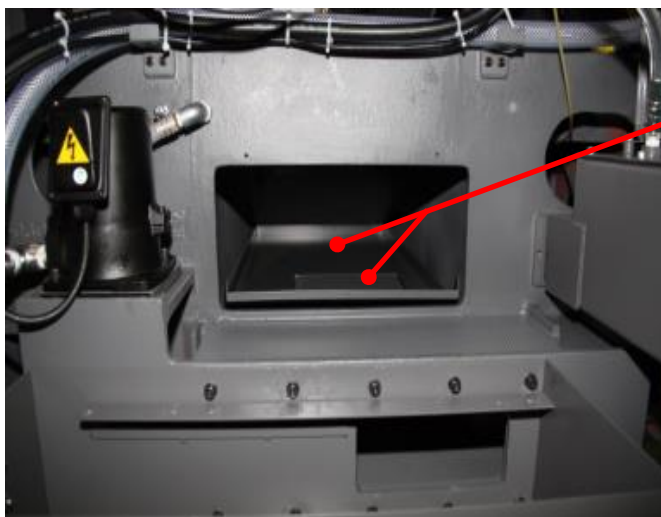
オイルパンフタ（再利用しません）

タンクオイルパン（再利用しません）  
（ボルトで固定されています）

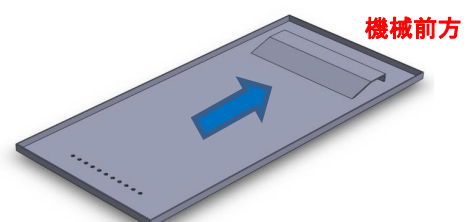
タンクフタ（再利用しません）  
（ボルトで固定されています）

外したボルトは後で再利用しますので  
保管願います。

- 3, “ベットタンクフタ”、“チップメサラ”、“チップフィルター”を外し、送付(チップコンベア用)の“ベットタンクフタ”と入れ替える。



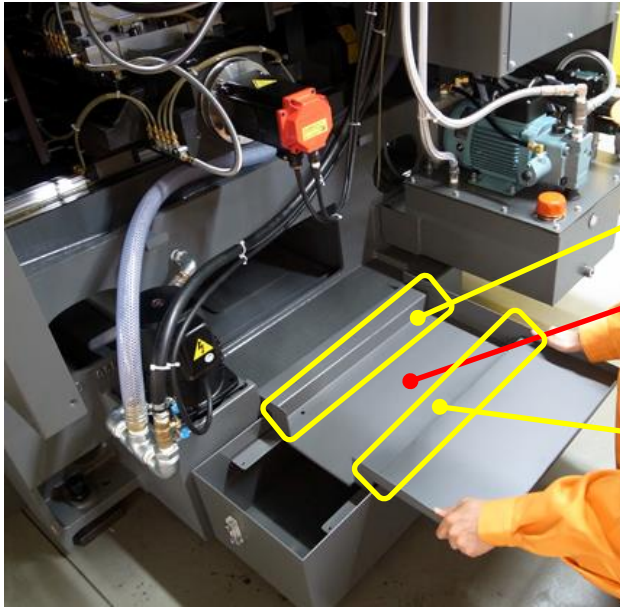
ベットタンクフタ、チップフィルター、チップメサラの  
3点を機内より外す。



機械前方

ベットタンクフタの差し込む方向

- 4, タンクオイルパンをサブタンクの上に乗せる。  
固定は4か所のうち2か所のみボルトで固定する。(タンクオイルパンを止めていたボルトを再利用します。)



こちら側2か所はボルトで固定。

タンクオイルパン (スパイラル用)

こちら側2か所はスパイラルコンベアと共締めするため今はボルトを入れません。

- 5, スパイラルコンベアを機械本体へ差し込み、ボルトで固定します。



スパイラルコンベア本体の重量は約85kgあります。

機械に差し込むときは、クレーンを使用、もしくは2人以上で持ち上げ差し込んでください。



- 4, で取り付けしたタンクオイルパンとスパイラルコンベアを  
付属のボルトとワッシャーで共締めで固定します。(2か所)

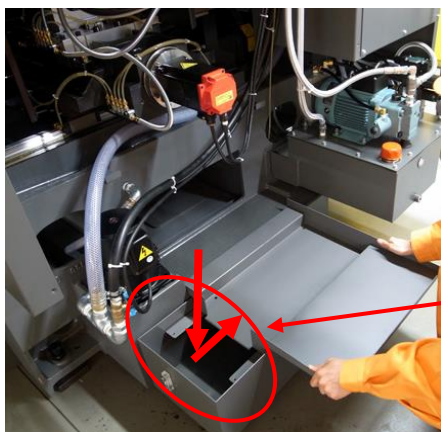


脚部



タンクオイルパン

6, チップバケットと切削油ヨケプレートを取付ける。



チップバケットはこの部分に入れ、右側に寄せる。  
タンクオイルパン から流れてくる切削油をこれで受けます。

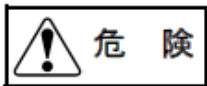


切削油ヨケプレートはスパイラルコンベアのダクト下において  
後方に切削油が流れていかないようにします。  
固定はしません。

以上にてメカ作業は終了です。

続いては電気作業に入ります。

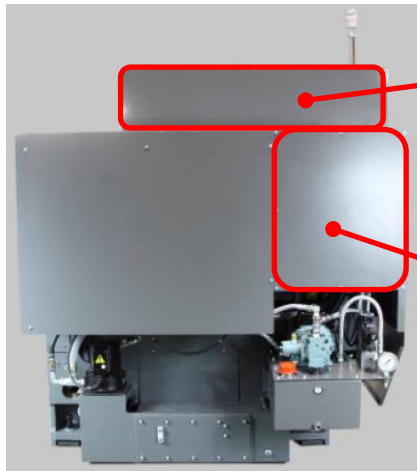
ここからは、スパイラルコンペアの配線をつないでいきます。



危険

電気作業するときは、必ず主電源スイッチを切ること。

7. 機械後方より“電気BOX7タ”と“操作BOX7タ1”を外します。



操作BOX7タ1

電気BOX7タ



8. チップコンペアから出ている配線を電気BOX内を通し、操作BOX配電部側にいれる。

① 電気BOX左側より配線を電気BOX内に入れる。



こちらから電気BOX内に入れる。

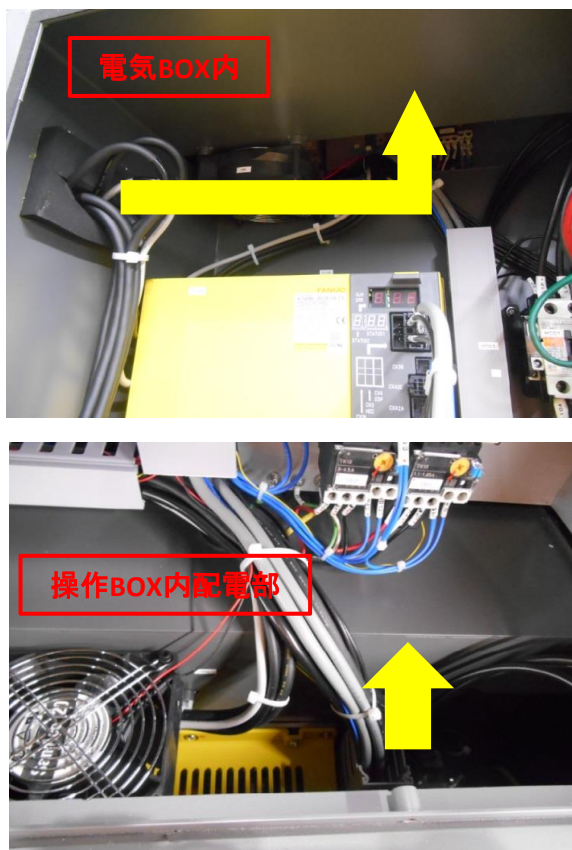


ビスを2か所ゆるめ、板を上にあげると  
すきまができます。  
線を入れた後板で押えビスで固定します。



ここから線が出ます

7, ② 電気BOX内から操作BOX配電部に線をとおす。



①より挿入した線を黄色の矢印の方向に回し操作BOX内配電部へ通します。



操作BOX内配電部底面より配線を回す。

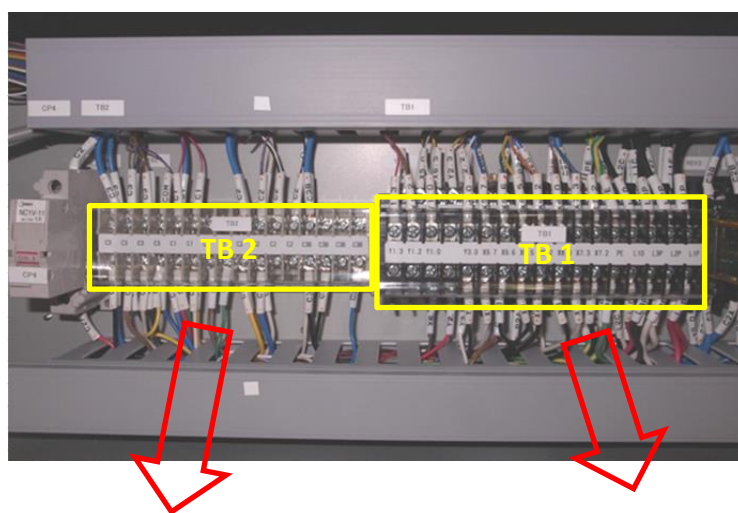
8, 配線BOXに通した線を配線BOX内の端子台に配線します。

配線は全部で11本。

線番は“L1P,”“L2P,”“L3P,”“PE”……………右側端子台[TB1]の赤いところへ

“X6.5,”“Y2.2,”“Y2.3,”“C2BB”……………右側端子台[TB1]の青いところへ

“C1,”“C3,”“C3B”……………左側端子台[TB2]の緑のところへ

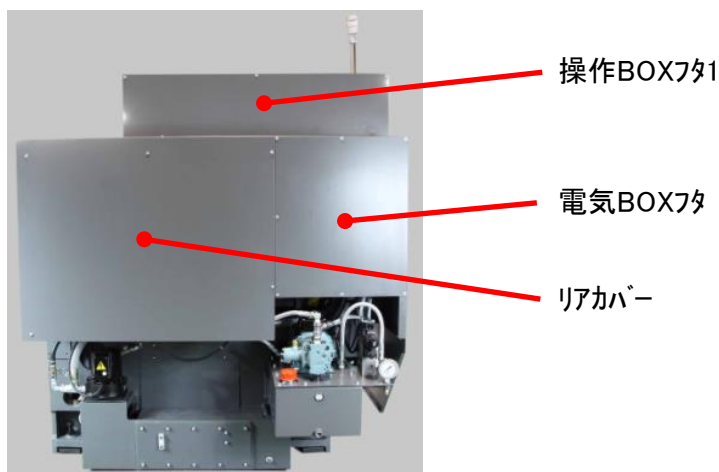


端子台があいていない場合は、現在、配線してあるものと共締めで止めてください。

|        |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |     |     |     |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|
|        | 16   | 15   | 14   | 13   | 12   | 11   | 10   | 9    | 8    | 7    | 6    | 5    | 4   | 3   | 2   | 1   |
| TB2    | C3   | C3   | C3   | C1   | C1   | C1   | C2   | C2   | C2   | C3B  | C3B  | C3B  | C3B |     |     |     |
| TB1 上段 | Y1.3 | Y1.2 | Y1.0 |      | Y3.0 | X9.7 | X9.5 | X9.5 | X8.2 | X8.0 | X7.3 | X7.2 | PE  | L1D | L2C | L1C |
| TB1 下段 | X5.1 | X5.0 | X6.5 | Y2.3 | Y2.2 | C2BB | C2BB | P24  | C2B  | C2B  | C2B  | PE   | PE  | L3P | L2P | L1P |

最後に配線もれ、端子台ビスのゆるみがないか点検願います。

9, 1,と7,で外した機械後方の“リアカバー”、“電気BOXカバー”と“配線BOXフタ”を取付けします。



10, キープリラーの設定をします。

キープリラーの設定が終わるまでは、非常停止は解除しないでください。  
設定方法は別紙キープリラーの変更方法を参照願います。

キープリラーのアドレスは、K0009.01になります。  
別紙、キープリラー設定方法を参考に、K0009の1番右に“0→1”に変更いたします。

設定が終了しましたら、パラメーター設定不可状態に戻すこと。  
(別紙、キープリラー設定方法の2の逆を実施)

設定が完了したところで非常停止を解除します。

11, スパイラルコンベアが正常に取り付けられたかの動作確認を行います。

非常停止を解除し、操作パネル内“CHIP FOR”押して正転(反時計回り)動作することを、  
“CHIP REV”のスイッチを押し逆転(時計回り)動作することを確認して下さい。



#### 使用条件

- ・ CHIP AUT …… 自動運転中のみ正転で動きます
- ・ CHIP FOR …… 手動、押している間のみ正転します
- ・ CHIP REV …… 手動、押している間のみ逆転します

以上で取り付け作業は終了です。

ご不明な点、不具合が生じた場合当社の方へご連絡願います。

